

2020 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	山本 佳代子	職名	助教	学位	学士(体育学) 福岡大学 1996年
----	--------	----	----	----	--------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会体育学 レクリエーション 障害 余暇	障害 余暇 きょうだい アート

研究課題
学齢期以降の障害のある人を対象としたアート活動の意義 重篤な疾患や重度の障害を抱える子どものきょうだいに対するパフォーマンスアーツを活用した支援の検討

担当授業科目
相談援助演習Ⅰ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 基礎実習

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅰ】 対面授業が可能な時期に、学生同士の交流が深まるよう授業スケジュールを組んだため、その後の遠隔授業への切り替えも問題なかった。遠隔授業での演習ではあったが、少人数でのグループワークを定期的に行い、学生間で意見交換をしながら学びあえる環境が整えられるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅰ】 遠隔授業であったが、対面授業で行っていたプログラムを実施できるよう、適切な映像教材を探し、実習に関する基本的な知識を取り入れられるよう工夫した。また、グループワークでの学習では、パソコン作業に不慣れな学生を個別に指導し、メンバー間で協力し作業に取り組めるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅱ】 コロナ禍のため、実習時期が定まらない学生が多数発生した。調整をし続けるとともに、随時連絡し不安が増さないよう配慮した。また実習が決定した学生に対しては、個別に実習指導を行い準備を整え実習を行った。終了後は、全体で実習生の学びを共有できる場を設け、一人ひとりの実習につながるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【基礎実習】 コロナ禍のため閉講。</p>

学会における活動		
所属学会等の名称	役職名等(任期)	加入時期
日本レジャー・レクリエーション学会		2004～
九州レジャー・レクリエーション学会		2013～

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
重篤な疾患を抱える子どものきょうだいに対するパフォーマンスアーツを活用した支援の検討	西南女学院大学	○笹月 桃子 野井 未加 文屋 典子 樋口 由紀子	1,818,200 円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考
障害のある子どもときょうだいの余暇活動支援 ちゃれんじ	子ども夢基金	120,000 円	コロナ禍で活動中止のため取り下げ

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等（役職、委員、学生支援など）
○ボランティア相談室 ○障害のある子どもときょうだいを対象とした余暇活動支援 ちゃれんじ